

## 税金で支える暮らし

魚津市立西部中学校 3 年 中野 心結

税金は何に使われているのだろうか。税金によってどんな良い事があるのだろうか。あなたは税金についてどれだけ知っているだろうか。ほとんどの人々は何も知らず、興味すらもったことがないだろう。かつて私もその中の一人だったが、あることをきっかけに考えが変わった。

今現在、私の家では「児童扶養手当制度」という国から給付金をもらって生活している。この制度は十八歳までの児童を養育しているひとり親に支給されるものだ。この給付金というのは国からの補助金という形で支給されるが、この補助金というのが国民からもらっている税金でまかなわれているのだ。今、私の母は、私と妹、弟と三人の子どもを女手一つで育ててくれている。そんな母にとって「児童扶養手当制度」という支給制度は唯一の希望の光だろう。この制度のおかげで私のようなひとり親の家族でも生活することができるのだ。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が少なくなった会社に対する支給制度も税金が使われている。「児童扶養手当制度」と同じように補助金という形で税金が使われている。私の祖父は魚問屋をしているが、魚を買ってくれる旅館が、お客さんが入らないため魚をあまり多く買えず、収入が五割ほどになったと言っていた。祖父の魚問屋仲間はほとんど旅館が休業になって、収入はわずか一割ほどになったそうだ。そんな時に、国から給付金をもらえることを聞いて、祖父は大変喜んでいた。

このように、ひとりで子どもを何人も育てているひとり親の家庭や、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が少なくなった会社に対して行われる支給制度によって生活できている人々は多くいる。すなわち、税金によって支えられている家庭がいくつもあるということだ。税金を納めることが誰かを助けていることにつながっているのだ。

税金が何に使われているのか多くの人が知らないと思うが、税金で救われている人が周りにはたくさんいる。税金で生活が成り立っている人もたくさんいる。それを、日本人として、納税者として知ってほしい。したがって、税金がないと生活していけない家庭もあるということだ。税金によってその家族の日常や未来も変えてしまうという税金の重さも感じてほしい。これからも立派な納税者として税を納めていきたいと思う。